NPO 法人松山子ども劇場２１　第 110 回 舞台鑑賞例会

はれときどきぶた

ま と め 集

人形劇団 ひとみ座

日時：2020 年 9 月 25 日(金)　19:00～（上映時間 60 分）

会場：愛媛県教育会館　講堂

終演後　マスク姿で登場　来住野正雄さん　松本美里さん　森下勝史さん

出演者の松本美里さんからのメッセージ

私は勉強も運動も苦手で、あまり取り柄がない地味な子どもでした。でも遊ぶのは大好きで、暗くなるまで夢中で遊んでいました。

この物語の主人公「のりやす」も、勉強も運動も得意じゃないけど日記を書くのが大好きで、毎日夢中で書いています。

好きな事、夢中になれる事。それが子どもの生きる力になります。

今を生きる子ども達が、それぞれの「好きな事」に出会えますように。そして、この作品を通じて、沢山の笑顔の輪が広がっていきますように。

みんなで、肩を寄せ合って観られる日を心待ちにしています！

心豊かな未来へ　～夢をつむぐ舞台とともに～

待ちに待った例会「はれときどきぶた」・・・素敵な時間が戻ってきました。新型コロナの猛威は生の舞台の楽しみを奪いました。しかし、私たちはただ嘆いていた訳ではありません。例会が行えるその日のために、話し合いを行い徹底した感染症対策をとり例会に臨みました。

会場となった愛媛県教育会館は昭和８年に建造され、国登録文化財に指定されています。教育会館のノスタルジックな雰囲気の中に設営されたひとみ座の舞台は、昭和と現代の時間が交錯した不思議な空間を生み出しました。

「はれときどきぶた：作　矢玉四郎」を原作とした人形劇の始まりです。開演とともに森下さんのギター演奏に合わせ、松本さんと来住野さんの歌声が会場に響き、これから始まる舞台へのワクワク感はさらに高まりました。

お母さんに日記を読まれた小学３年生の畠山則安くん。お母さんがびっくりするようなことを書こうと思い「あしたの日記」を書くことにします。トイレにヘビ・お母さんが鉛筆を天ぷらにする・ブタが空からふってくる・・・

ひとみ座の表現力と巧みな小道具の演出がその状況を伝えます。子どもたちは笑顔いっぱい、そして全身で楽しさを表していました。人形と演じ手が一体となって表現する老舗ひとみ座の力は、舞台を観ることの魅力を存分に伝えてくれたといえるでしょう。

子どもたちが伸びやかに想像し楽しめる生の舞台を、どのような時でも届け続ける大切さを思います。

舞台鑑賞事業部　　武智 理惠

参加人数：40 人

当番ブロックのまとめ

７月８日に道後ひがしブロックと小町ブロックの合同ブロック会を行いました。
感染症対策や当日の準備等について話し合い、当日に向けてスタートしました。

●事前に行なった対策
・事前に会員に９月例会を迎えるためのアンケートをとった。
・チラシに３密を避ける対策の記入、事前に周知する。
・チケットに連絡先や体温の記入欄を作り、当日書いて来てもらうようにした。
・当日パンフの挟み込みは前もって行った。
・劇団員には事前に PCR 検査を受けてもらい、陰性の確認をとった。

●当日の対策
・お手伝いの人数を最少人数で行う。
・会場作り：舞台と客席の間に飛沫が届かない距離を確保した。
　　家族ごとに座る銀マットを用意
　　椅子席の間隔をあける
　　窓を開けて喚起する
・受　　付：入り口で検温の実施
　　会場に入る前に手指の消毒をする
　　マスク着用をお願いし、無い方には用意していた。
　　もぎりは箱に入れてもらう、当日パンフレットの手渡しはしない
・会場整理：間隔をとり、ファイスシールドをつけて行う
・小 夜 食：集まって作るのはやめる。１人前ずつサンドイッチ他を購入した。
・プレゼント：演者との接触を避けるため、演者が引いている間に子どもたちがステージにプレゼントを置きに行き、子どもが戻ったら演者に出て来てもらい受け取ってもらった。

●事後の対策
・アンケートは当日は記入所をつくらずに、帰宅して書いてもらうようにした。
・アフタートークの実施はオンラインで行った。

★この時期、愛媛では、コロナの感染もほとんど収まり、実施できたことは、とてもラッキーでした。
「ひとみ座」が神奈川の劇団であること・観客数に制限がかかっていることから、家庭の職業により、参加をあきらめたり、遠慮された会員さんがいらっしゃったことはとても残念ですが、少しづつ活動が再開されることを願っています。
岸和田のフェスで、最後に交流会として、なが～く伸びた首とか掃除機とかコンロとか「どうなっているのかな？」と思った仕掛けの説明がありました。三密をさけることや時間の制約などで今回実施できなかったのは残念です。
劇団も大変な中、頑張っているんだなぁ！と思えて、ちょっとだけ力になりました。当番することも含め、久々の楽しい例会でした。（おとな・会員）

★不安もありましたが、感染予防対策を取って、無事に感染者もなく終われたのがよかったです。当番で演者さんの裏話が聞けたり、かわいいＴシャツを子ども劇場に用意してくださっていて、心遣いが嬉しかったです。（おとな・会員）

★とにかく万全の対策だったと思います。受付の手作りボードには感激しました。敷物も使い捨てにしていすや机は除菌して、プレゼントの手渡しもなしにしたり、劇団の方もコロナ対策をしてこられたし、やるべきことはできたのでは。
例会も楽しめましたが、親しい人たちと一緒に準備をしたり感想を言いながら片付けたりも楽しかったなと思います。（おとな・会員）

★思いつくことをみんなで出しあって、それを一生懸命形にし、実現できたなあと思います。県内の感染者が出ていなかったのは安心材料でした。劇団もPCR検査を受けなおかつ万全の対策をとってくださったのでより安心でした。
小夜食も作ることを避け、購入したもので少しさみしかったですが安全第一にしました。プレゼントの袋を楽しいものにし、イラストをいっぱい書いてくれました。中身は愛媛のアピール（今治タオル　ポエム　坊ちゃん団子　伊予柑ゼリー）でした。（おとな・会員）

★私は仕事で残念ながら観ることができませんでしたが、久しぶりの例会だったので、観ることができた人は良かったのではないでしょうか。感染対策もきちんとできていたので例会を開催して良かったと思います。（おとな・会員）

アフター・トーク　まとめ

2020 年 10 月 4 日(日)14 時～14 時 40 分

参加人数:大人 6 人　子ども 1 人

感染症感染予防のため、集まることを避けて、初めてオンラインでアフタートークを実施しました。

45 分という限られた時間の中で、まず全員が参加する(オンラインで繋がる)ということが第一関門で、5 分前から入室可能として時間を設けていましたが、やはり画面が出ないとか音声が出ないといったトラブルがあり、内容が開始できるまでに 15 分程度かかりました。

全員が揃ってからは、自己紹介は省けるメンバーだったので、例会にちなんだ○×クイズをしたり、思い思いに感想を喋ったりしてあっという間に終了時間になってしまいました。唯一子どもの参加だった C 君は感想を言うのは恥ずかしそうでしたが、○×クイズには積極的で一番に回答したり、ぬりえを見せてくれたり、日記も書いたよと一緒に楽しんでくれました。

事前に参加希望者はメールで申し込んでパスワードを知らせる…という案内が、経験者じゃないと分かりにくいのだろうと、参加者は zoom 経験者のみになりました。初めての人にはオンラインで繋がるきっかけ作りになればと思っていましたが、ハードルが高いと分かり、もっと丁寧な呼びかけやアプローチが必要だと思いました。

課題はたくさんあるオンラインでのアフタートークでしたが、このような状況の中、オンラインでもイベントができたということに意義はあったかなと思います。

今は不必要に人に会わないことが是とされていますが、例会場で久しぶりに会員さんと顔を合わせると一言でも喋りたくなる気持ちもあり、気軽に集まれない、おしゃべりできないのが本当に残念です。アフタートークもできることならば集まって楽しみたいなと願わずにはいられません。

早くウィズコロナの時代でも、人との関わりが大切だと提唱される日がきますように。

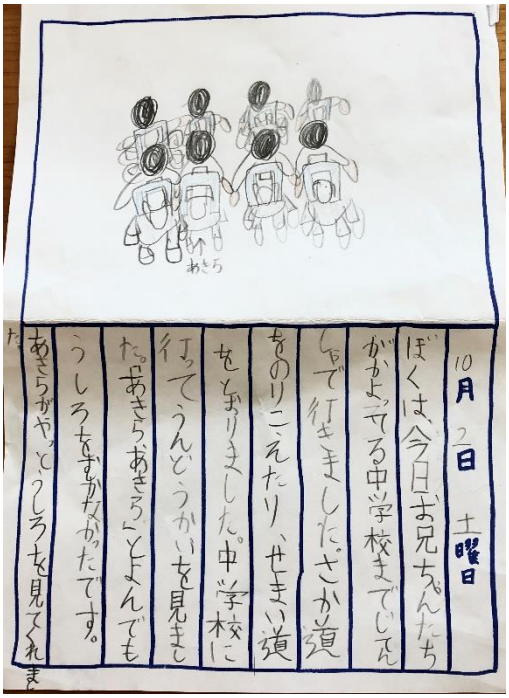
舞台鑑賞事業部　小浦　薫

ぬりえ＆絵日記

なまえ 弓女まりこ
はれときどきぶた

なまえ ゆみこ
はれときどきぶた

なまえ 堀川あさ
はれときどきぶた


あさら
10月2日 土曜日
ぼくは、今日お兄ちゃんたちがかよってる中学校までじてんしゃで行きましたざか道をのりこえたり、せまい道をとおりました。中学校に行ってうんどうかいを見ました。あさら、あさら」とよんでもうしろをずかずかったです。あさらがやっとうしろを見てくれた